

# 九州IRフェア2019 in 大阪 会社説明会

～日本タングステンの事業内容と今後の成長戦略～

2019年11月23日

 日本タングステン株式会社

証券コード：6998

1. 会社概要
2. 主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 剰余金の配当、配当方針
7. 株式の状況

- 1. 会社概要**
2. 主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 剰余金の配当、配当方針
7. 株式の状況

# 会社概要

社名	日本タングステン株式会社（証券コード：6998）
創立	1931年4月1日（創立88周年）
本社	福岡市博多区美野島1丁目2番8号
代表	取締役社長 後藤 信志
事業内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. タングステン、モリブデン、その他の金属の精製加工並びに販売</li><li>2. ファインセラミックその他窯業製品の製造並びに販売</li><li>3. 不動産の賃貸および管理</li><li>4. 太陽光発電事業</li></ol>
資本金	25億950万円
売上高	126億円（連結 2019.03現在）
従業員数	526人（連結 2019.09現在）
発行株式総数	2,577千株
株主数	3,128名（2019.09現在）
株式市場	東証（第2部）、福証

# 創業までの経緯

当社の創立者の一人である秋山英二は、1920年4月、タングステンの有望性に着目、新生の日本冶金(株) (東邦金属(株)の前身)に移り、ここでアメリカから招かれた技術顧問ロジャース氏の指導を受け、この分野で日本有数の技術者となります。

1930年春、秋山は照明用タングステン線を製造する会社設立の構想を抱き、1931年4月1日に操業開始しました。



若き日の秋山英二



1931年  
創業当時の工場全景  
(福岡市住吉)



現在 本社ビル  
(博多区美野島)

# 国内事業所



本社



基山工場



飯塚工場  
(金属材料製品)

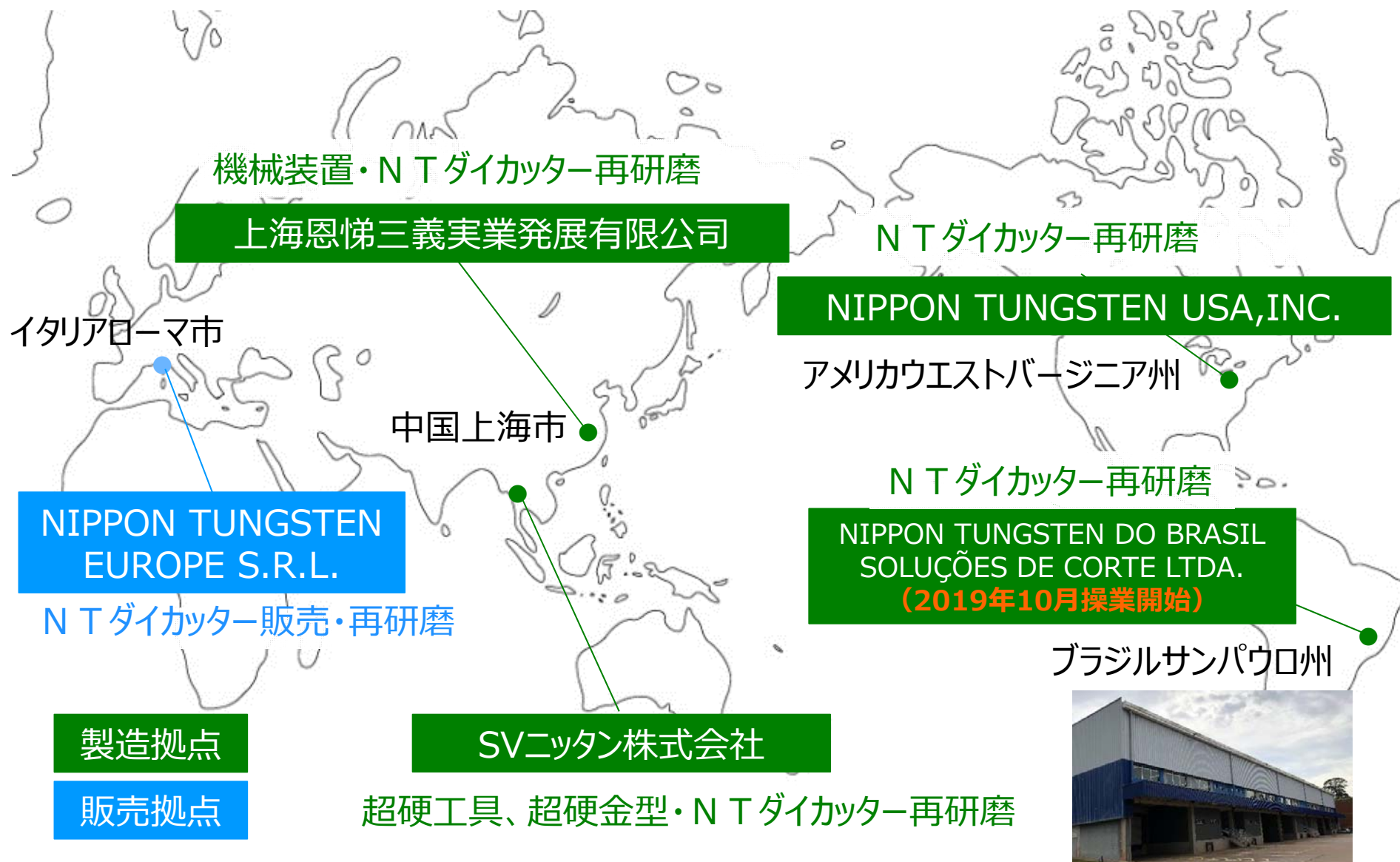


宇美工場  
(磁気ヘッド基板)

製造拠点

販売拠点

# 海外事業拠点





# タングステンとは？

スウェーデン語で「**重い石**」を意味する金属です。

その名のとおり「重い」という特徴を含め、次の特徴があります。

## タングステンの特徴

1



### 熱に強い！

鉄は約 1 5 0 0 °C で溶ける。  
タングstenは 3 3 8 0 °C で溶ける！

2



### 硬い！

炭素とくっつくと非常に硬くなる！  
ダイヤモンドに次ぐ硬さ！

3



### 重い！

同じ大きさの鉄の 2.5 倍、鉛の 1.7 倍。  
金とほぼ同じ重さ。



# 当社の事業ドメインと製品

## ■ 衛生用品

世界シェア 30%  
(当社調べ)



NTダイカッター

## ■ 医療



タングステンリボン

## ■ 半導体



真空  
チャック

## ■ インフラ



電力開閉装置  
用電極

## ■ 自動車



抵抗溶接用  
電極

## ■ 電子部品

世界シェア 75%  
(当社調べ)



ハードディスク  
ドライブ用  
磁気ヘッド基板

## ■ エネルギー



耐食・  
耐摩耗製品

## ■ 産業機器



ウルトラ  
ファインバブル  
クーラントシステム

# 当社の製品開発史

## 粉末冶金技術

1930年代



金属材料製品  
(タングステン製品)



電気・電子製品  
(タングステン合金)

1950年代



超硬合金製品  
(炭化タングステン合金)

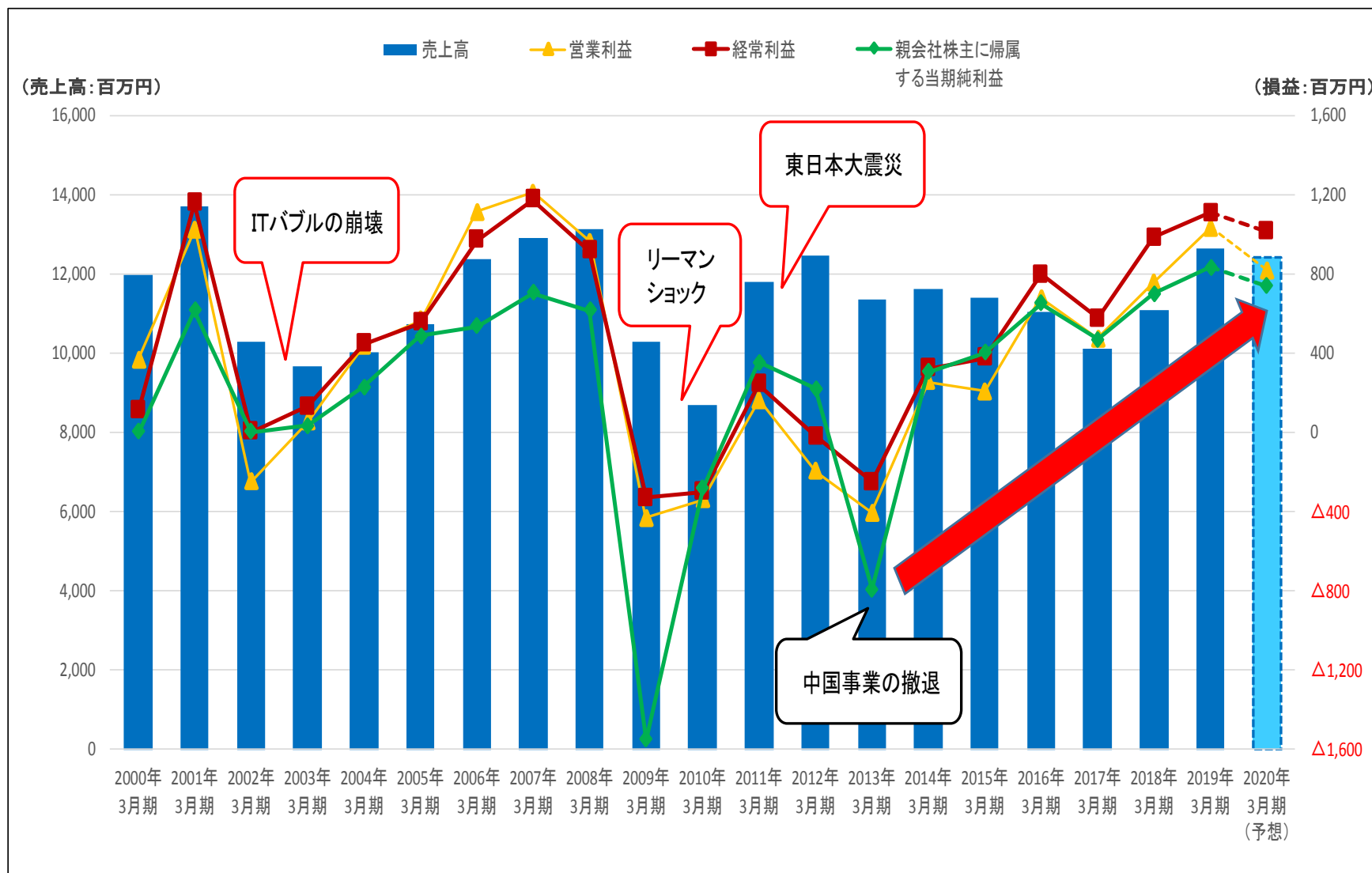
1970年代



セラミック製品  
(セラミック材料)

# 業績の推移 (連結)

[1999~2018年度]  中国の不採算事業を撤退し、高採算事業へシフト中



1. 会社概要
- 2. 主力商品の紹介**
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 剰余金の配当、配当方針
7. 株式の状況

# 事業ドメインと製品（5市場別）

## ■ 衛生・医療



NTダイカッター

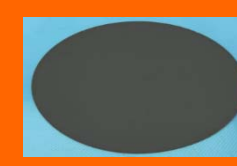


タングステンリボン

## ■ 半導体・電子部品



HDD用磁気ヘッド基板



耐プラズマ材料製品

## ■ 自動車



抵抗溶接用電極



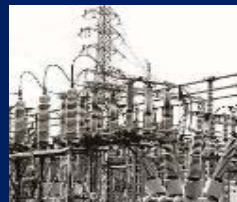
EV用接点

## ■ 産業機器



UFBクーラントシステム

## ■ インフラ



耐食・耐摩耗製品



電力開閉装置用電極



# 市場別製品紹介

## 衛生・医療

### 超合金製切断工具（NTダイカッター）



用途例：不織布等高速輪郭切断加工

世界シェア 30% (当社調べ)

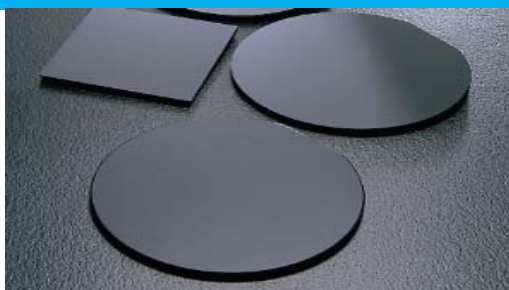
### タングステンリボン



用途例：カテーテル用ガイドワイヤー

## 半導体・電子部品

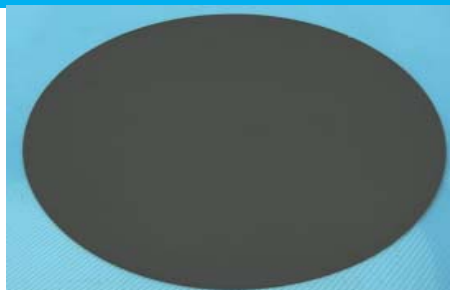
### 磁気ヘッド基板用セラミックス



用途例：ハードディスクドライブ

世界シェア 75% (当社調べ)

### 耐プラズマ材料製品



用途例：半導体製造装置部材

### 多孔質セラミック真空チャック



用途例：フィルム検査・搬送装置

## 自動車

### 抵抗溶接用電極



用途例：自動車電装部品製造用

### EV用接点製品



用途例：EV自動車用リレー接点

## 産業用機器

### ウルトラファインバブルクーラントシステム



用途例：研削加工性能改善機器



## インフラ

### 造管用セラミックロール



用途例：鋼管製造用ガイドロール

### 耐食・耐摩耗製品インフラ



用途例：産業用ポンプ

### 開閉器用接点・電極



用途例：ガス遮断器用接点

## 照明・その他

### タングステンワイヤー照明



用途例：電球のフィラメント

### タングステン棒照明



用途例：放電灯用電極

1. 会社概要
2. 主力商品の紹介
- 3. 成長戦略（2020中期経営計画）**
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 剰余金の配当、配当方針
7. 株式の状況

# 2020中期経営計画

2020中期経営計画では4つの基本方針を設定し、最終目標の達成に向けて戦略的に重点項目について各施策を実行してまいります。

## ●基本方針

### 1 人財の育成

#### 自発的に考え、行動する社員の育成

幅広い視点から深く考える人財を育成し、  
個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を  
向上させていきます

### 2 新商品の創出

#### お客様のニーズをいち早くつかみ、 継続的かつスピーディに新商品を創出

新商品の創出活動を活性化させ、  
NO.1の価値創造に挑戦します

### 3 ものづくりの強化

#### お客様に満足していただける良いものを 安く、早くつくる、ものづくり力

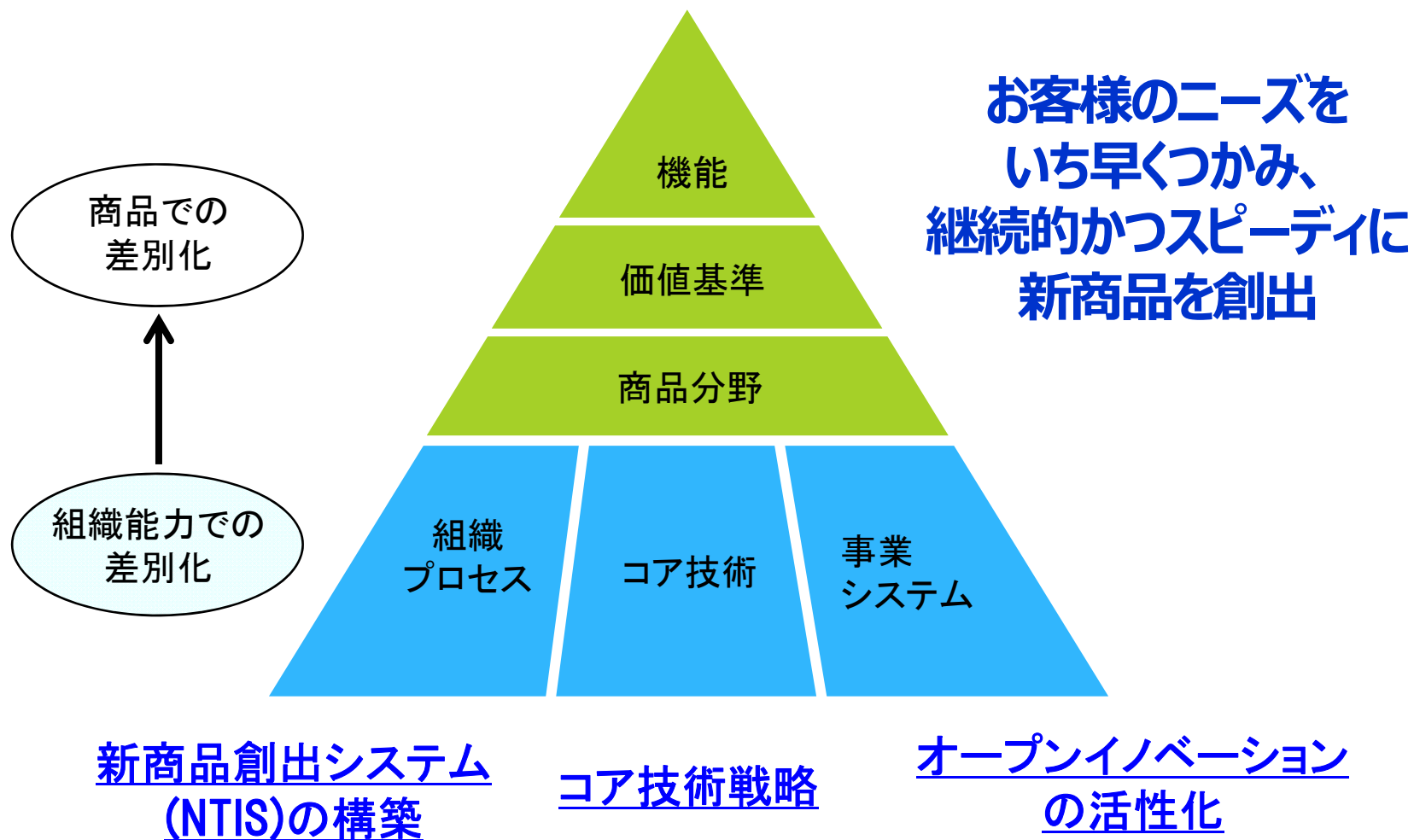
生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、  
収益拡大を目指します

### 4 グローバル市場での拡販

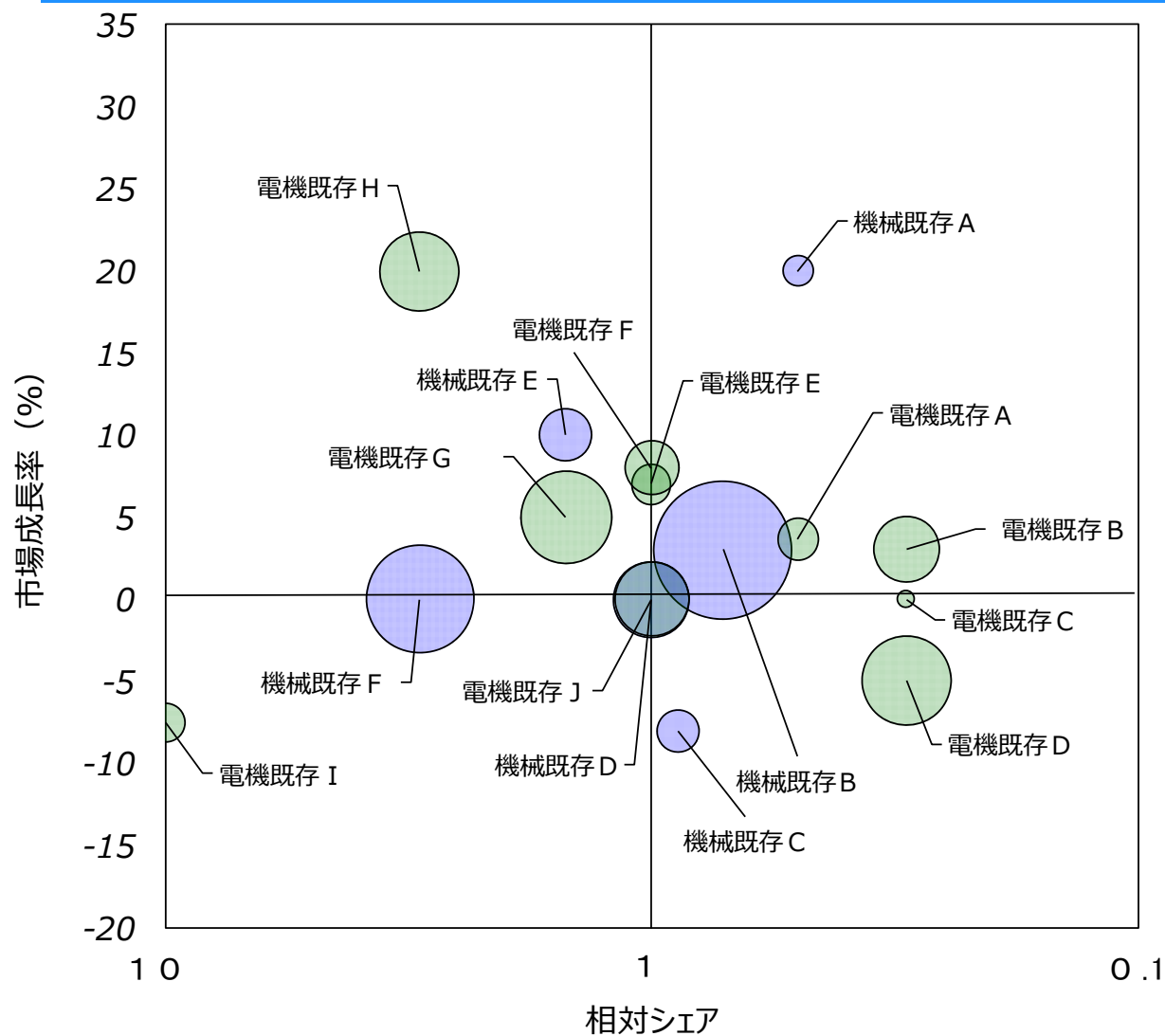
#### グローバルネットワークの拡大

世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、  
製造体制を確立し、売上拡大を目指します

## ● 基本戦略

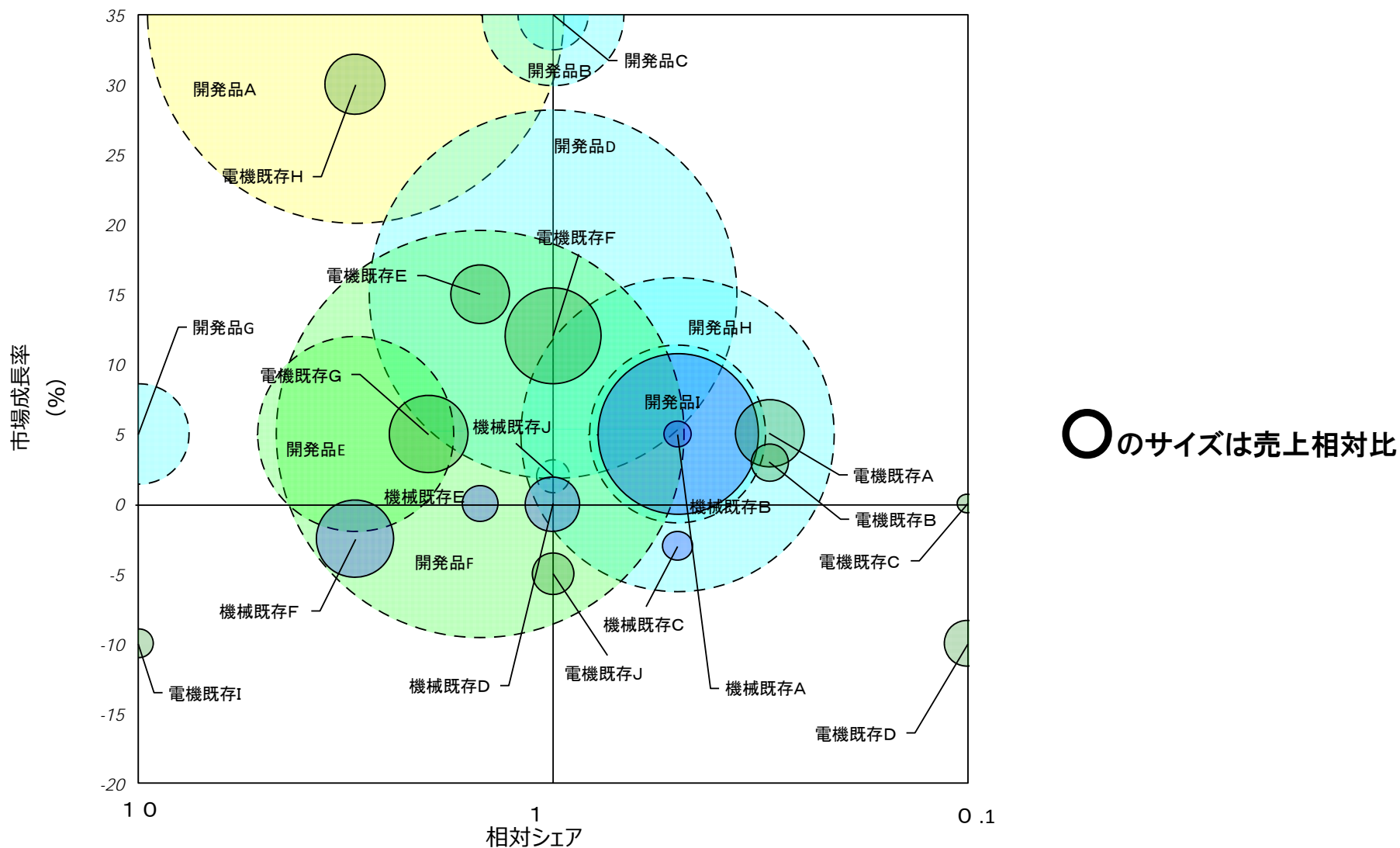


## ● 2018年主力商品ポートフォリオ（現状）

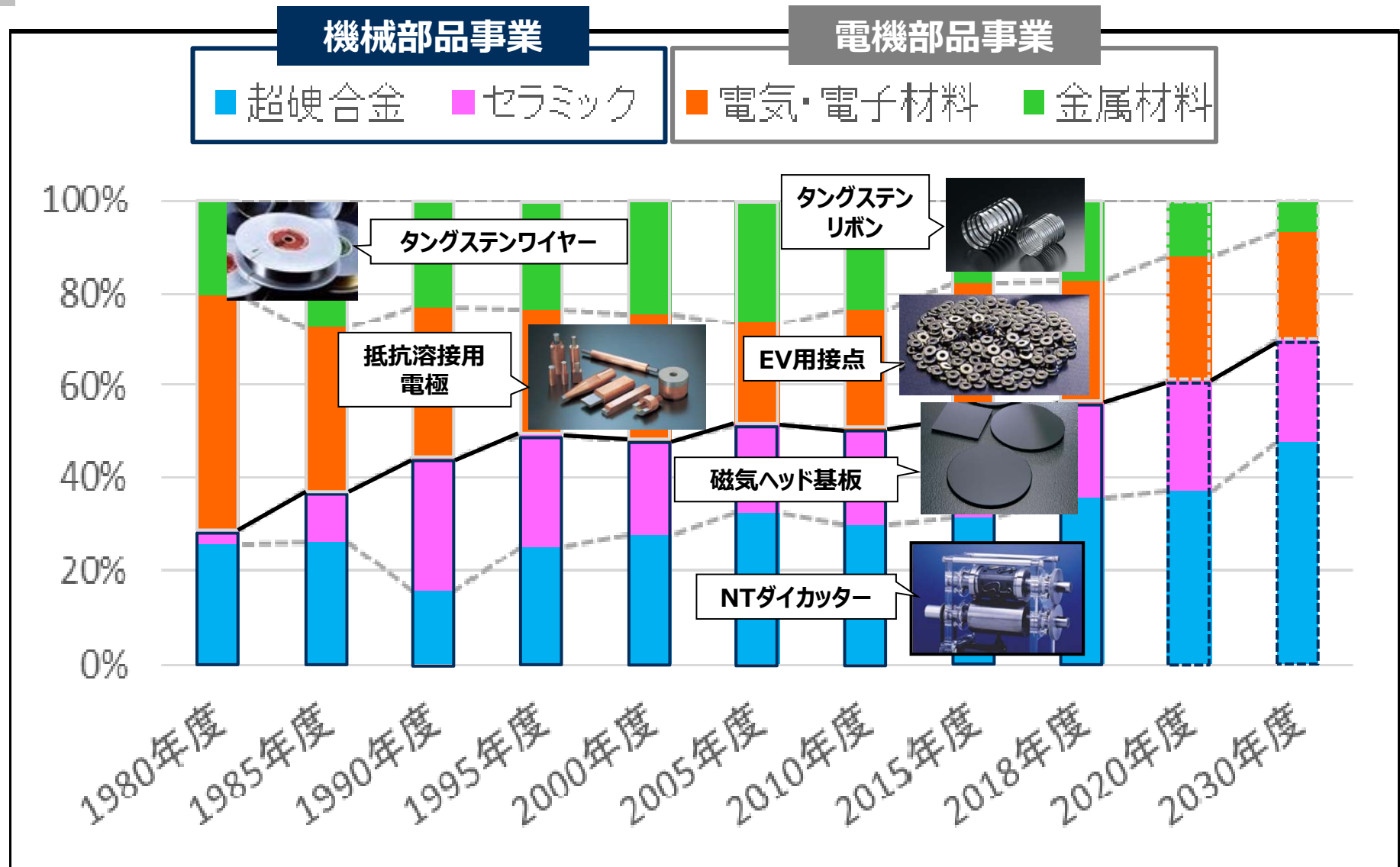


○のサイズは売上相対比

## ● 2030年主力商品ポートフォリオ (想定)



# セグメント・材料別売上占有率の推移 日本タングステン株式会社



売上高比率の推移

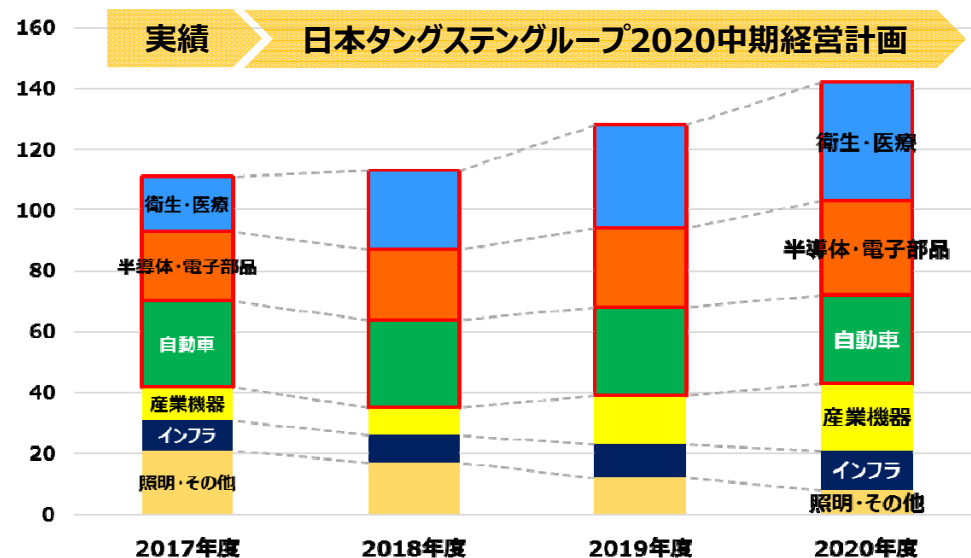


# 2020中期経営計画

## ● 100周年に向けての計数計画

### 5市場別の連結売上高目標

(単位：億円)



新商品を  
継続的に  
投入

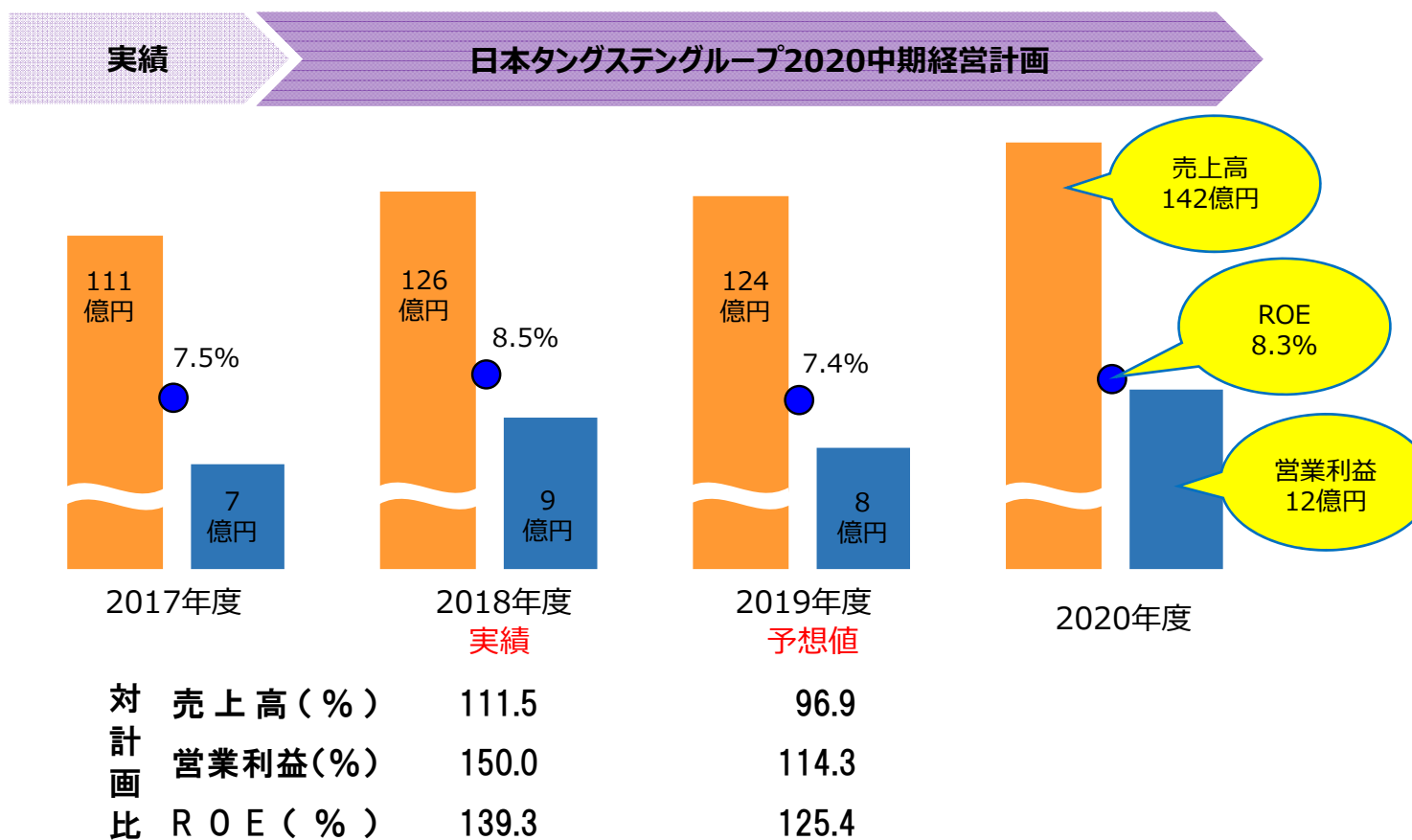
2030年度目標  
230億円

創立100周年に向けて 2030年度

# 2020中期経営計画

## ● 計数計画の進捗状況

### 連結業績目標の推移



1. 会社概要
2. 主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
- 4. 中期経営計画の注力商品個別戦略**
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 剰余金の配当、配当方針
7. 株式の状況

# 2020中期経営計画

## ● 2020中計経営計画の主な注力製品

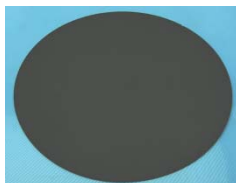
### 衛生・医療

NTダイカッター  
タングステンリボン



### 半導体・電子部品

耐プラズマ材料製品  
プラズマ電極

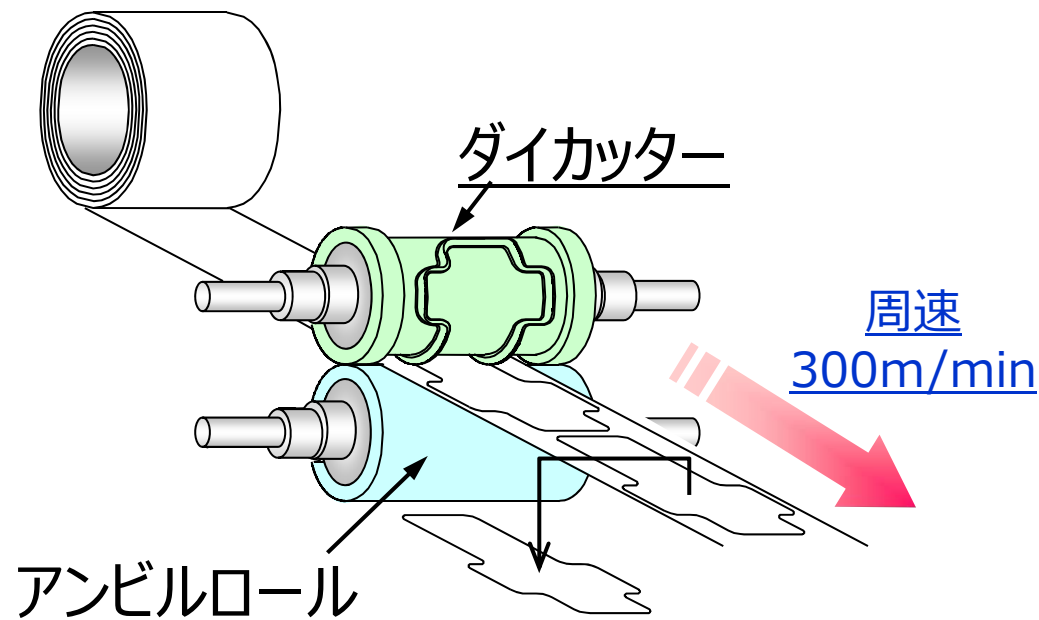


### 自動車

抵抗溶接用電極  
EV用接点製品



## NTダイカッター

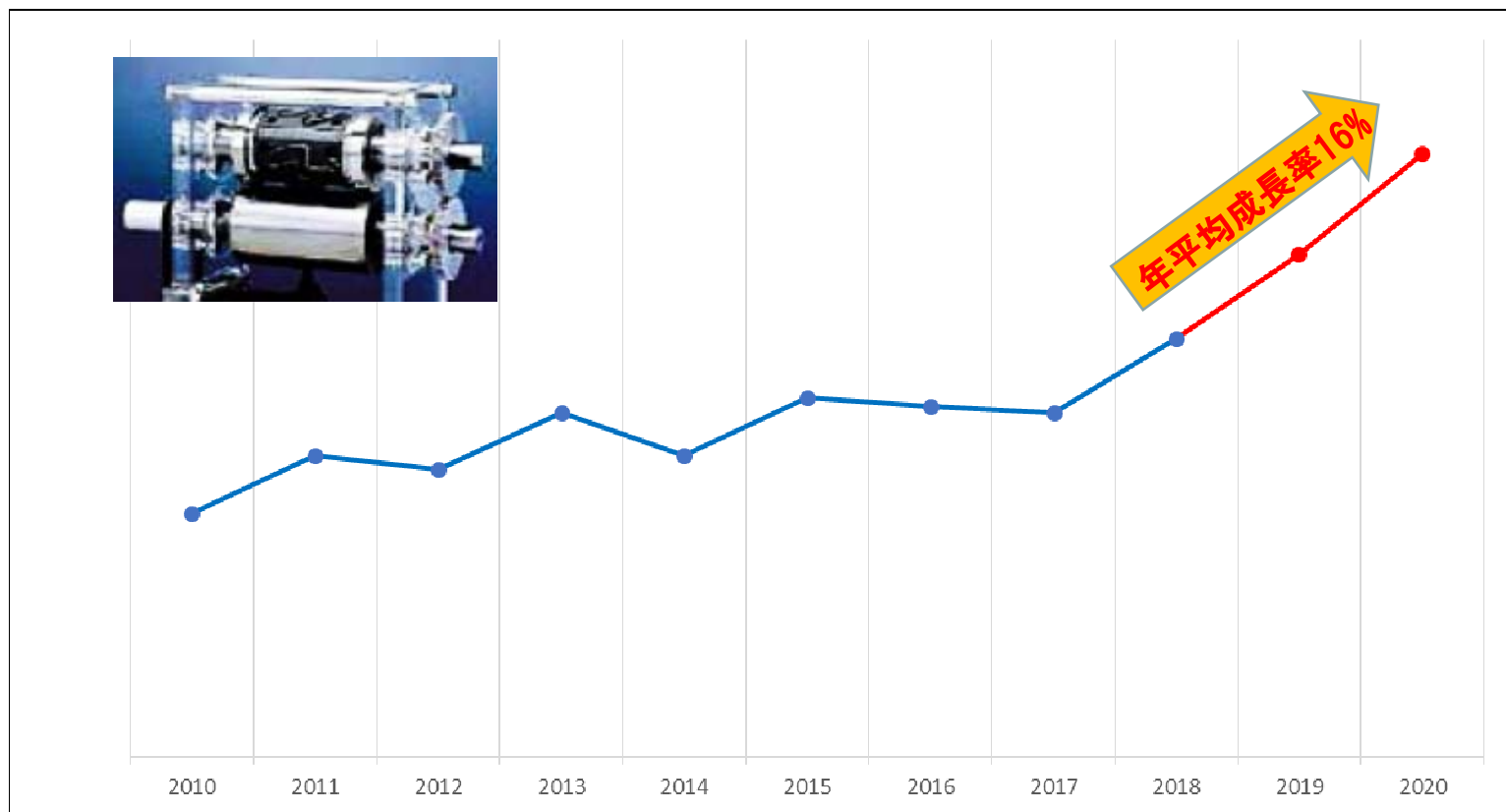


NTダイカッターは1986年、世界に先駆けて、独自の粉末冶金・高精度加工技術により商品化された高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工が可能です。

紙おむつ・ナプキン製造用カッター(超合金)の**グローバル市場で高いシェアを誇る**当社の主力製品です。

# NTダイカッター成長予測

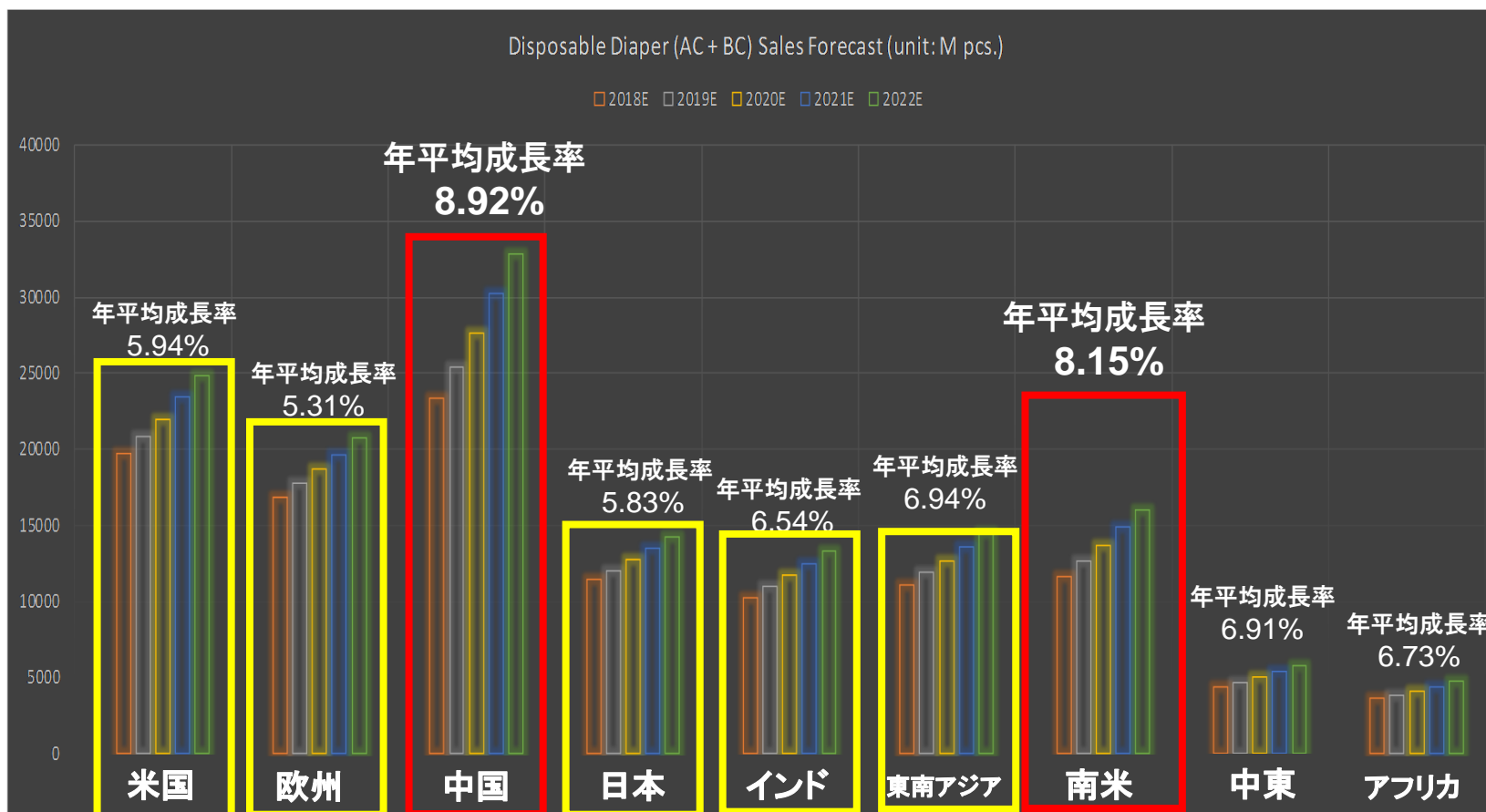
NTダイカッターは2018-2020で年平均成長率16%と拡大する見込み



NTダイカッターの成長予測2010-2020 (当社調べ)

# 紙おむつの市場成長予測

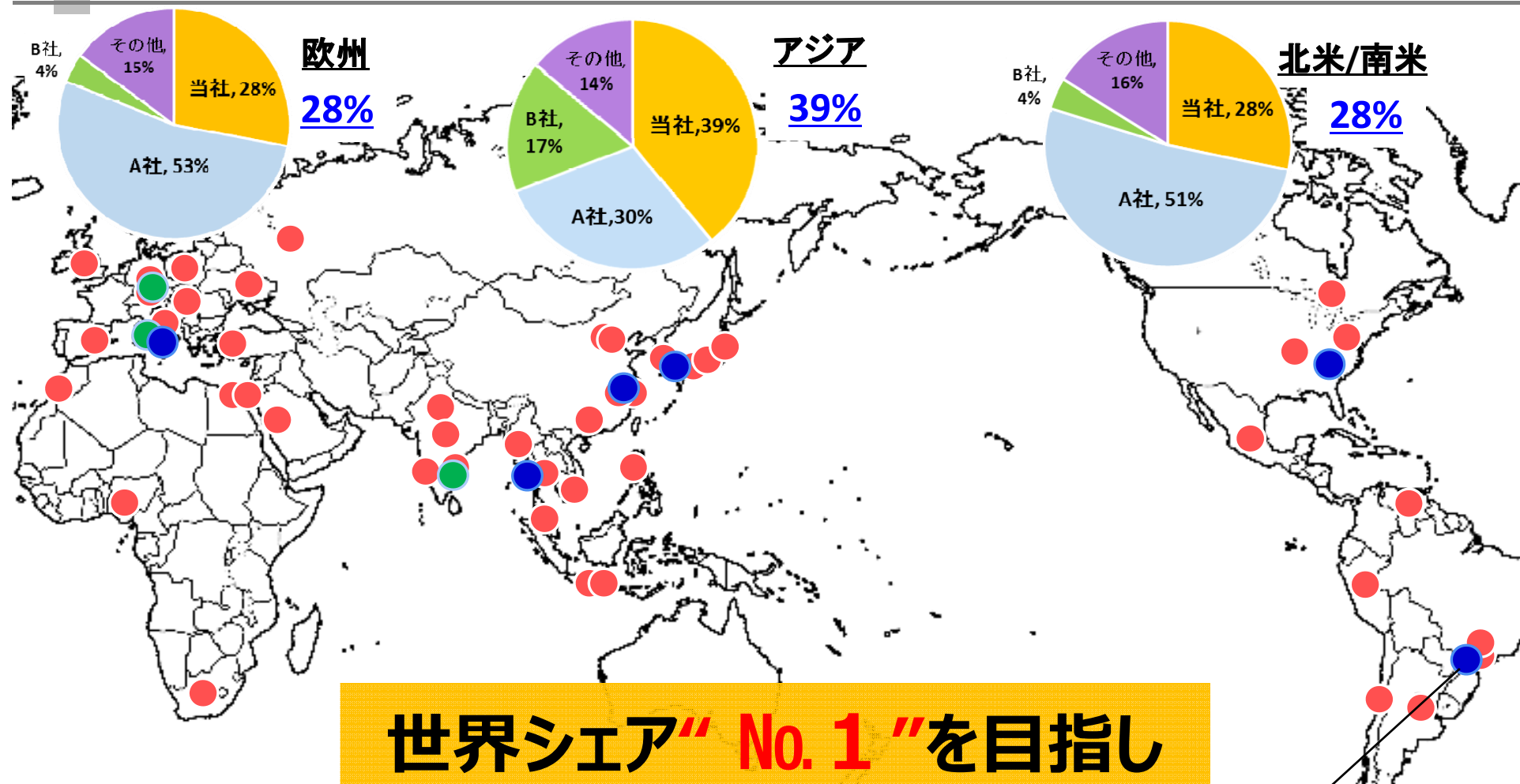
- ◆地域別の年平均成長率は、①中国、②南米の市場が高い
- ◆製品別では、大人おむつ製品の成長が期待される ⇒大型ダイカッター製品の開発



大人・子供おむつの地域別市場成長率予測 2018-2022 (当社調べ)



# ① グローバル戦略



世界シェア“ No. 1 ”を目指し  
グローバルに展開する

ブラジル子会社を設立  
(2019年10月操業開始)

グローバル市場のお客様（●）ニーズに対応し、販売拠点を展開し、アフターサービス拠点（●:グループ会社 ●:協力会社）を充実させることで、更なるシェアアップを目指します。

## ②生産能力強化

N T ダイカッターの生産能力増強・今後の新製品増産を目的として、  
建屋を増築し、2018年5月に稼働を開始。

### 建屋の概況

- (1) 所在地 基山工場
- (2) 建築面積 約4,100㎡
- (3) 生産開始 2018年5月
- (4) 投資総額 約10億円

### 生産能力

今回の増築により、N T ダイカッターの  
生産能力は現在の倍になる予定

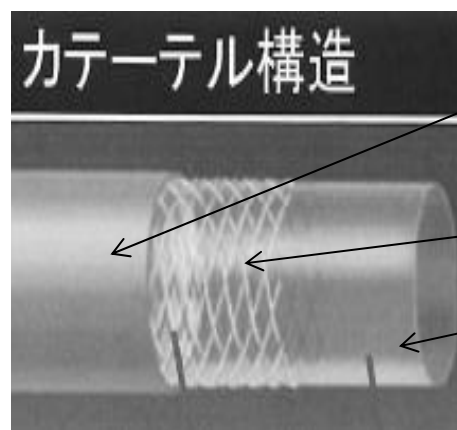
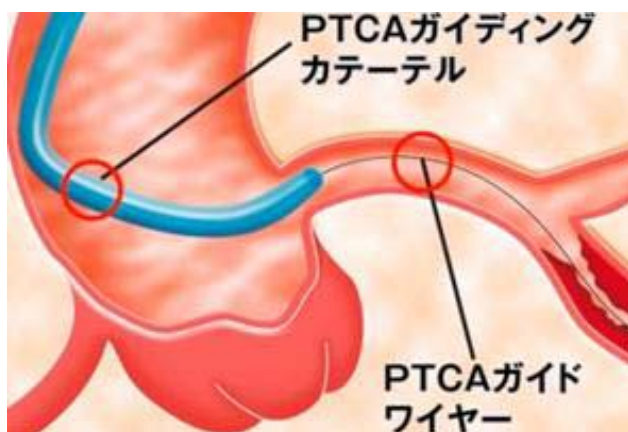


増築部分

## タングステンリボン

— 体にやさしい(低侵襲)医療に役立っています —

### 血管狭窄(きょうさく)手術



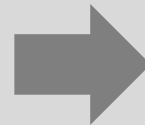
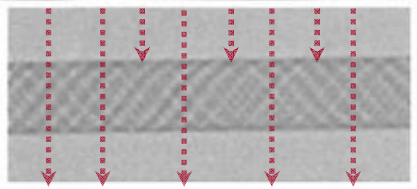
外層樹脂

金属製ワイヤー

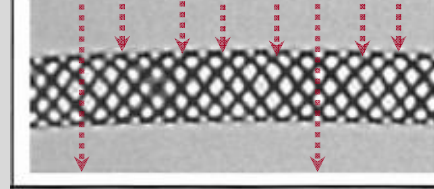
内層樹脂

X線

ステンレス 25 x 150 $\mu$ m



タングステン 25 x 150 $\mu$ m

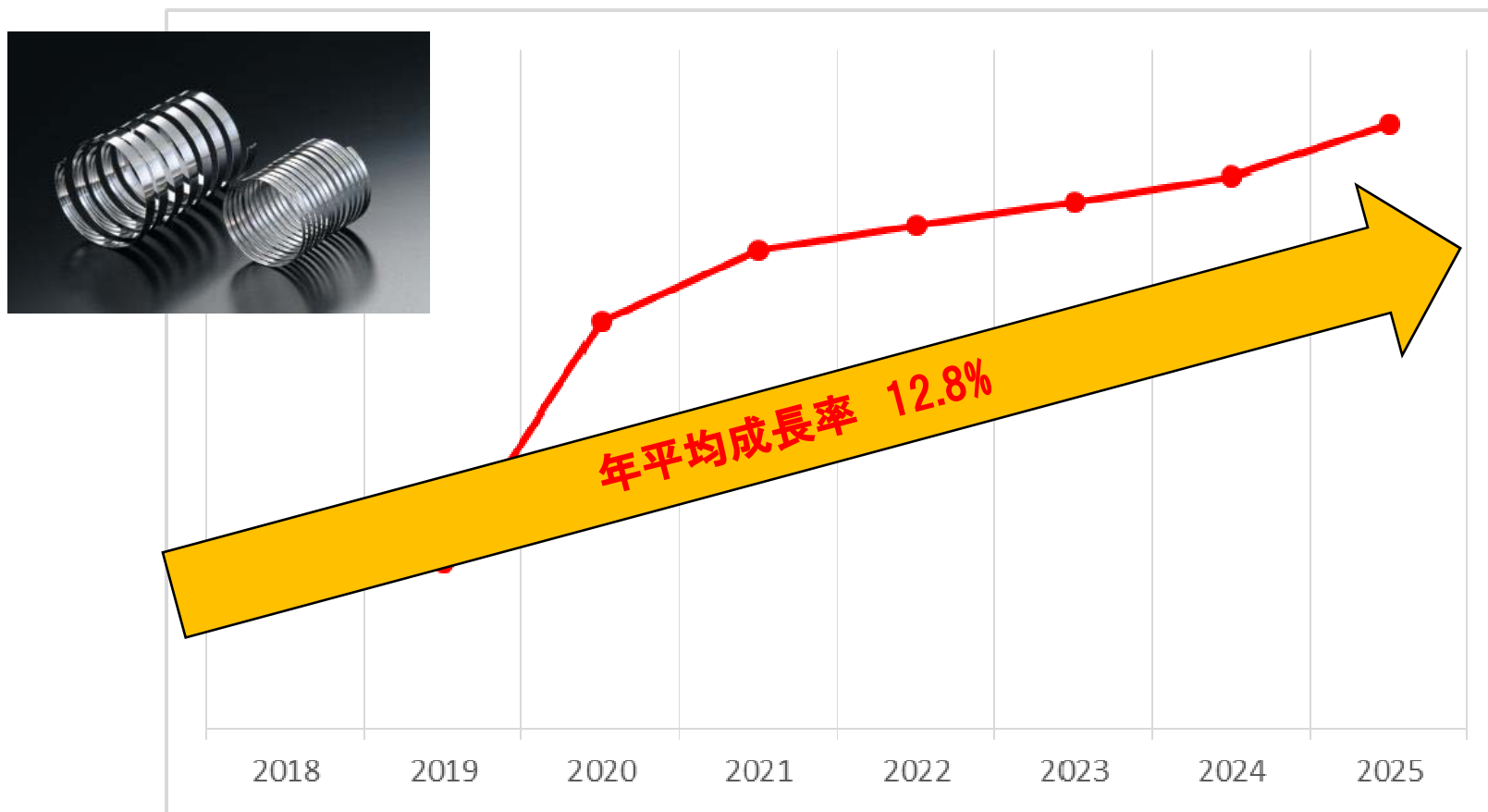


\* タングステンは鉄の2.5倍の重さがあり、その特徴で、同じ条件下でX線を照射したモニターでは2.5倍クリアに見えます

\* X線照射量を減らすことで、体の負担が軽減されます

# 低侵襲治療の市場成長予測

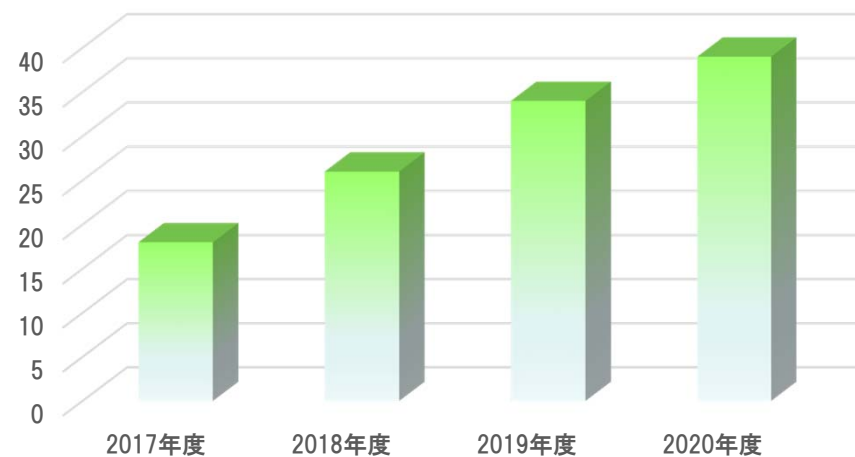
- ◆低侵襲治療の市場は2018年－2025年に年平均成長率が12.8%で拡大すると予測されています



低侵襲治療の市場成長率調査（2018-2025）（当社調べ）

## ■ 衛生用品・医療

衛生用品・医療分野の売上計画(億円)



### 衛生用品



NTダイカッター

### 医療



タンゲステンリボン

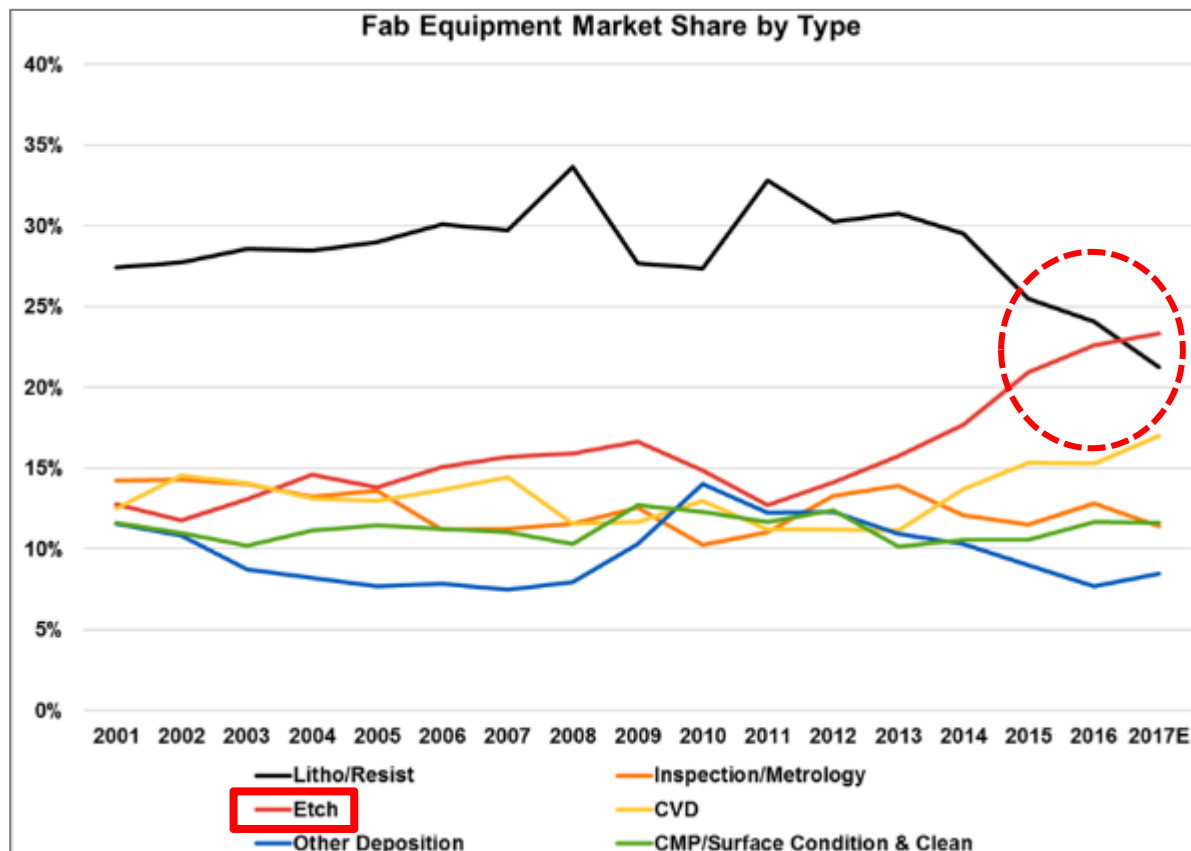


# 半導体製造装置部材の市場戦略



## エッチング装置と露光装置の割合

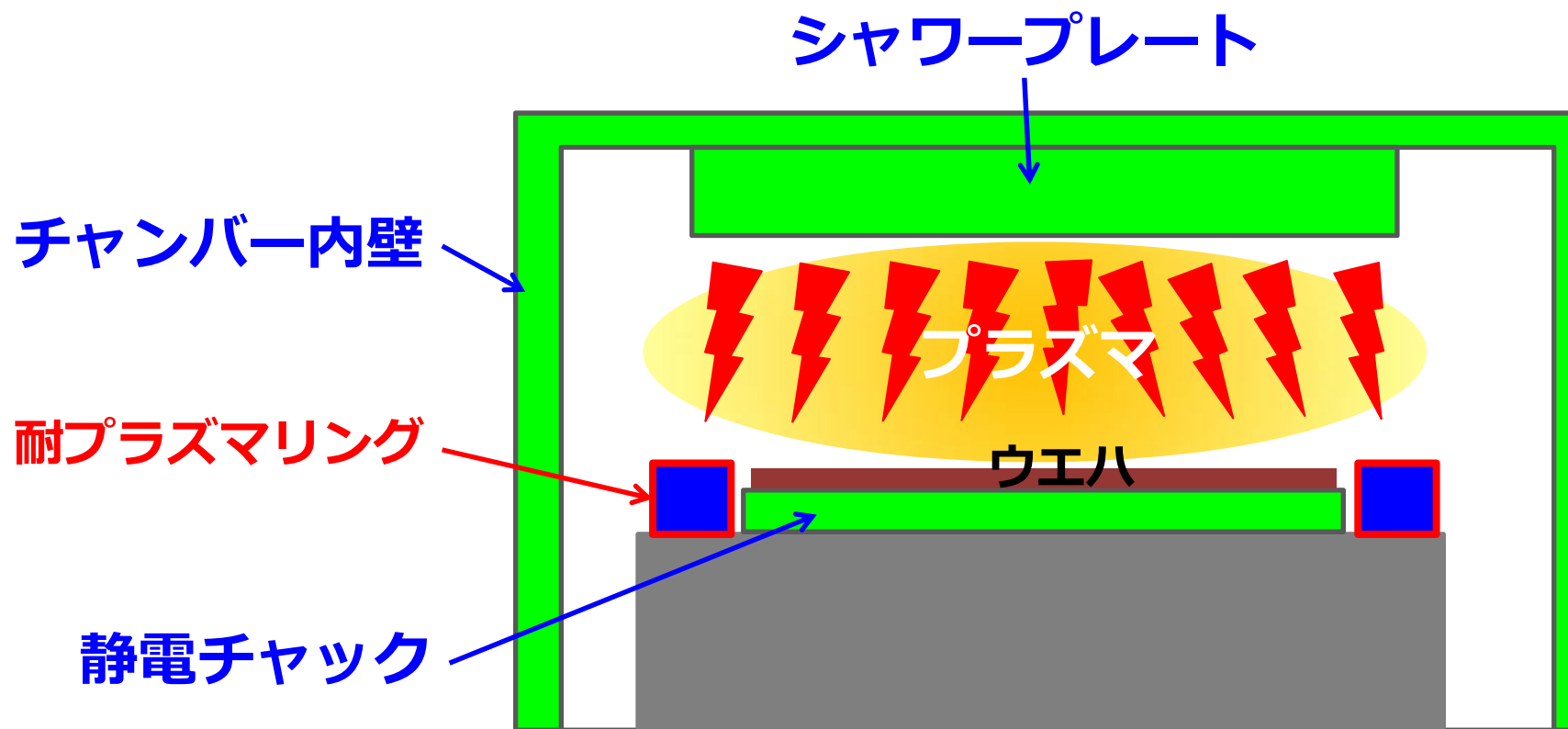
- ◆ 2017年、エッチング装置の売上規模が初めて露光装置を上回りました
- ◆ 半導体の微細化・多層化に伴い、今後もエッチング装置市場の拡大が見込まれます



伸長するエッチング装置市場に、当社の耐プラズマ材料製品を投入する。

※出典：SEMI / SEAJ WWSEMS

## プラズマエッチング装置へのセラミックス応用例



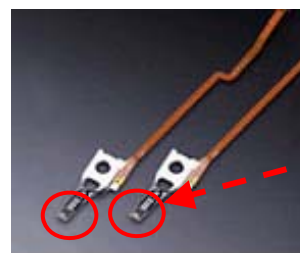
半導体製造用プラズマエッチング装置の模式図



## ハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板



### ● HDDの内部構造



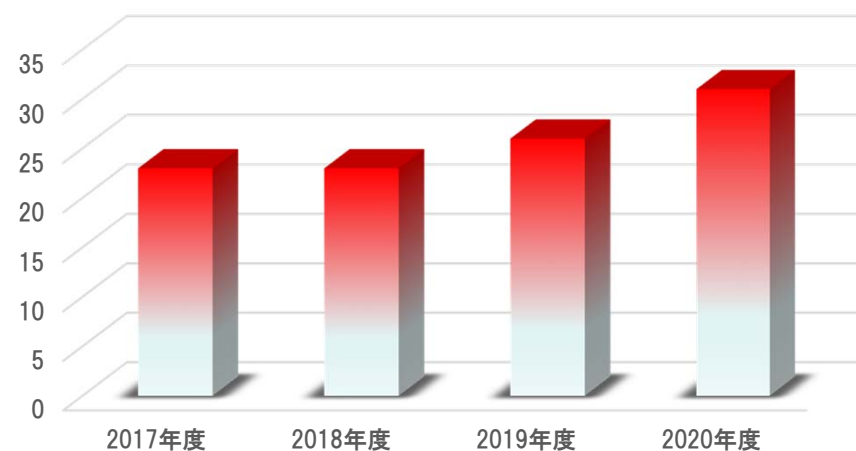
データ記録に使用されるHDDに当社の磁気ヘッド基板が用いられています。

現在は、データセンターなどで使用されるニアライン向け大容量HDDの需要が伸びています。

当社の磁気ヘッド基板は**世界シェア75%**（自社推計）となっており、世界中で高い評価をいただいています。

## ■ 半導体・電子部品

半導体・電子部品分野の売上計画(億円)

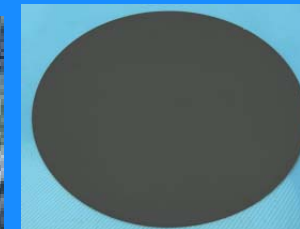


### 電子部品



ハードディスク  
ドライブ用  
磁気ヘッド基板

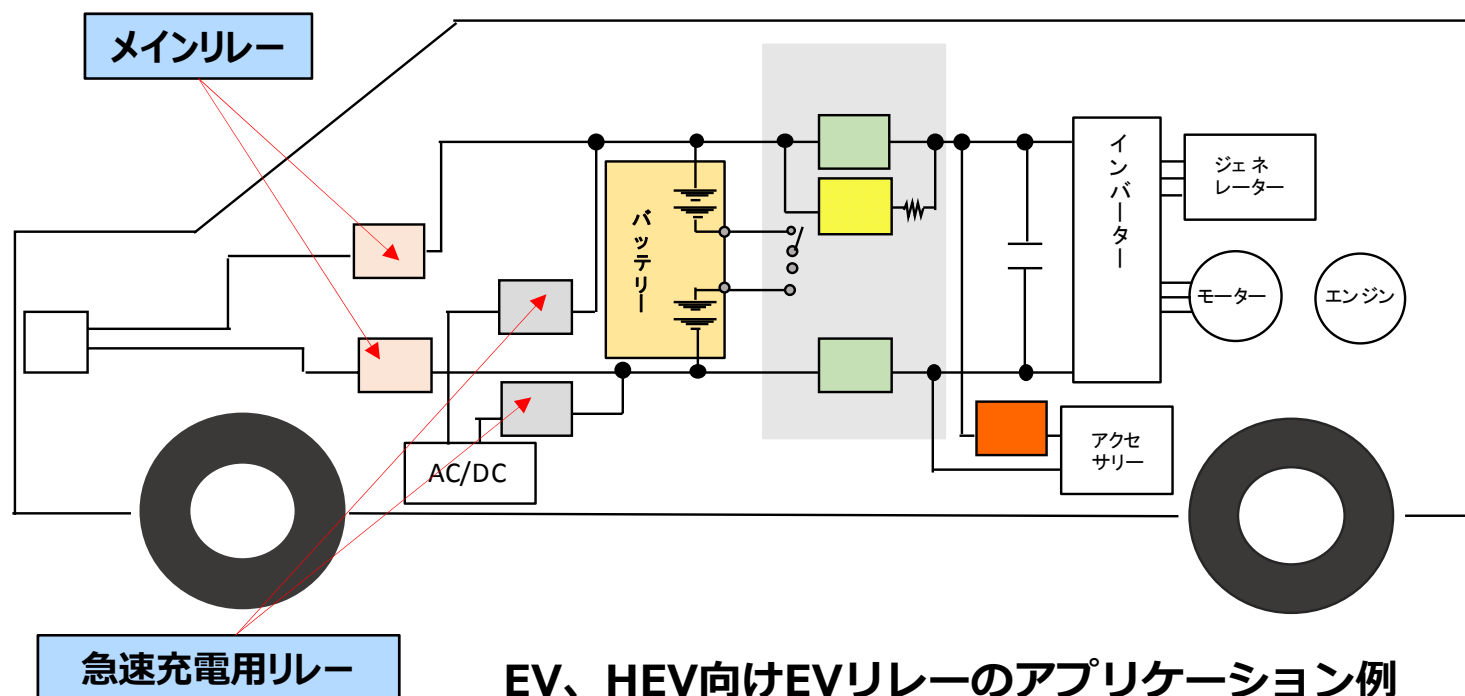
### 半導体



耐プラズマ  
材料製品

## EV用接点製品

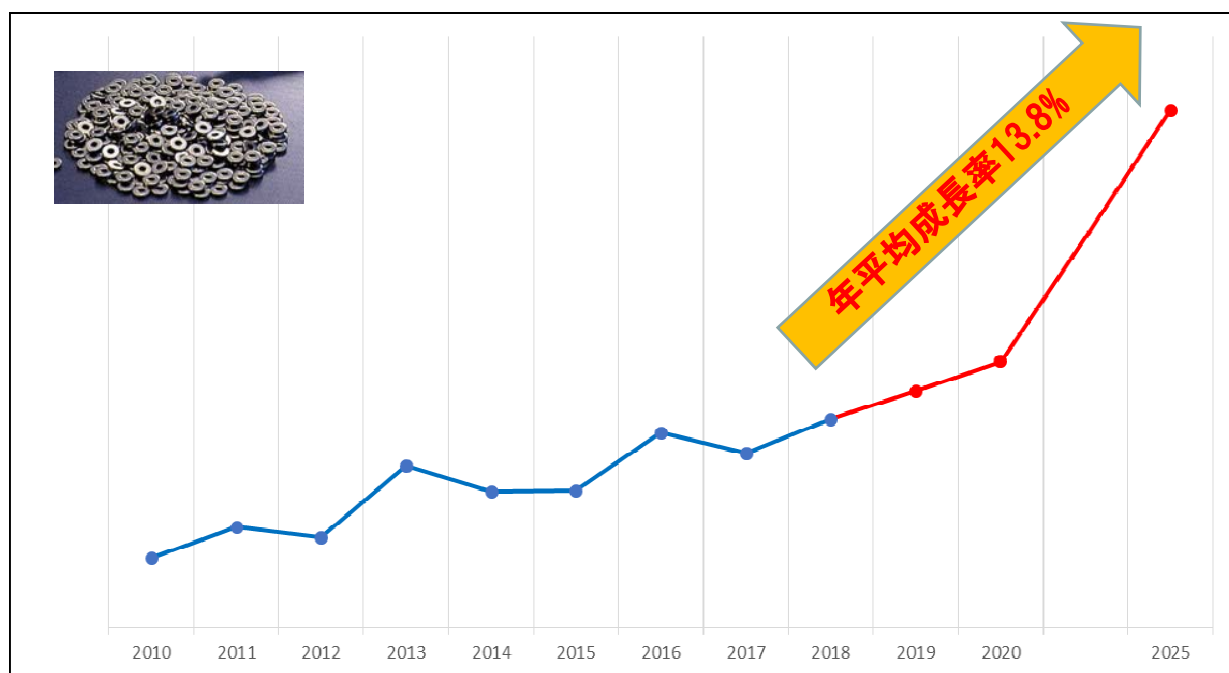
EV用接点製品は、主にEV自動車で使用され、事故などの緊急時にバッテリー、モーターの電流を瞬時に完全に遮断するメインリレー用接点や急速充電用のリレーに使用されています。



EV、HEV向けEVリレーのアプリケーション例

## EV用接点製品の成長率

EV市場の拡大とともにリレー用接点も増加する見込み  
当社のEVリレー用接点も、2018-2025で年平均成長率13.8%と拡大する見込み

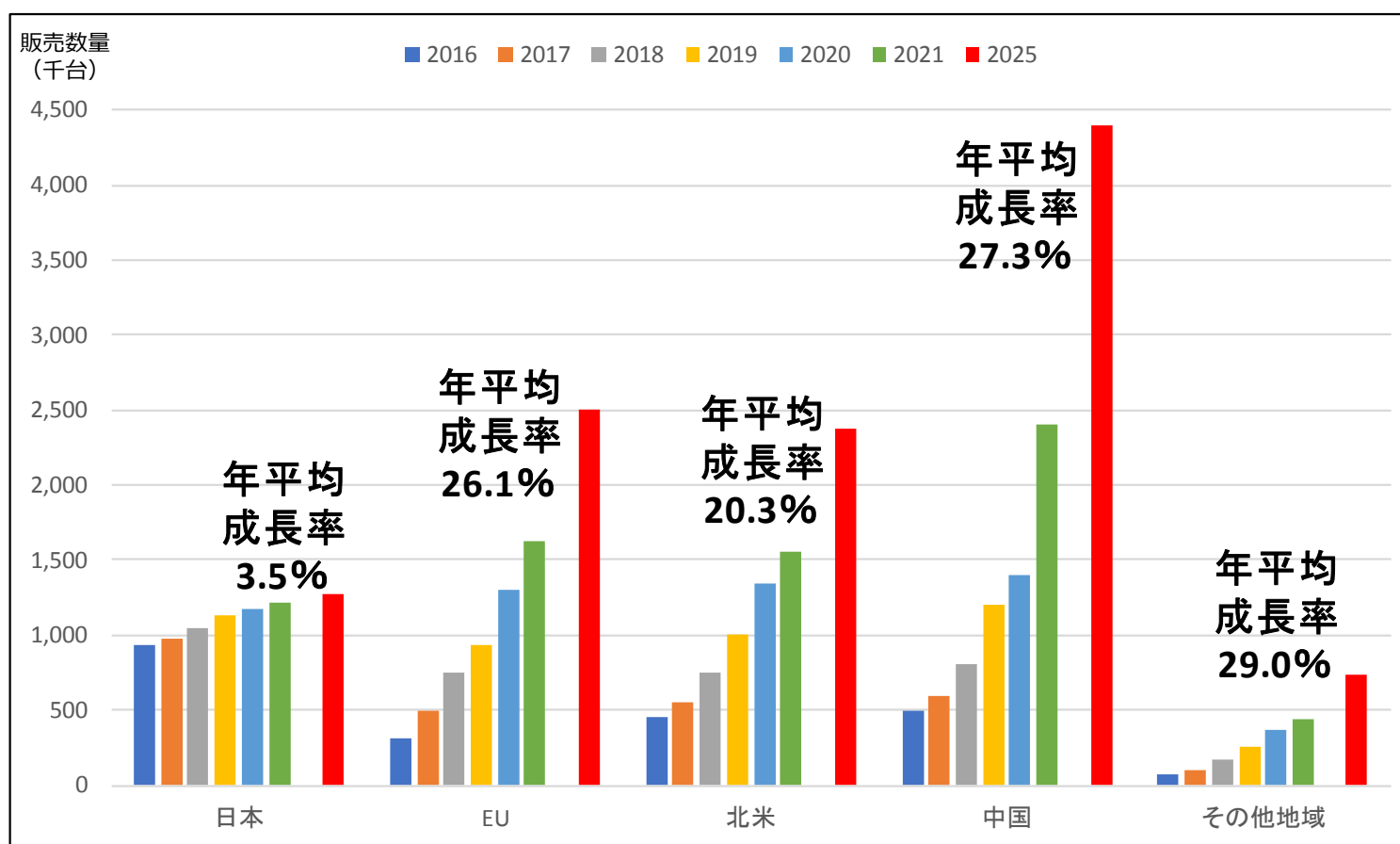


EV接点の市場成長率予測 2010-2025 (当社調べ)

2019年に生産能力を**1.6倍**にする設備投資を実施

# 電気自動車の市場成長予測

- ◆グローバルでの2016年ー2025年の年平均成長率は19.5%と拡大する見込み
- ◆2030年電気自動車の比率は、中国 38%、EU 32%との予測



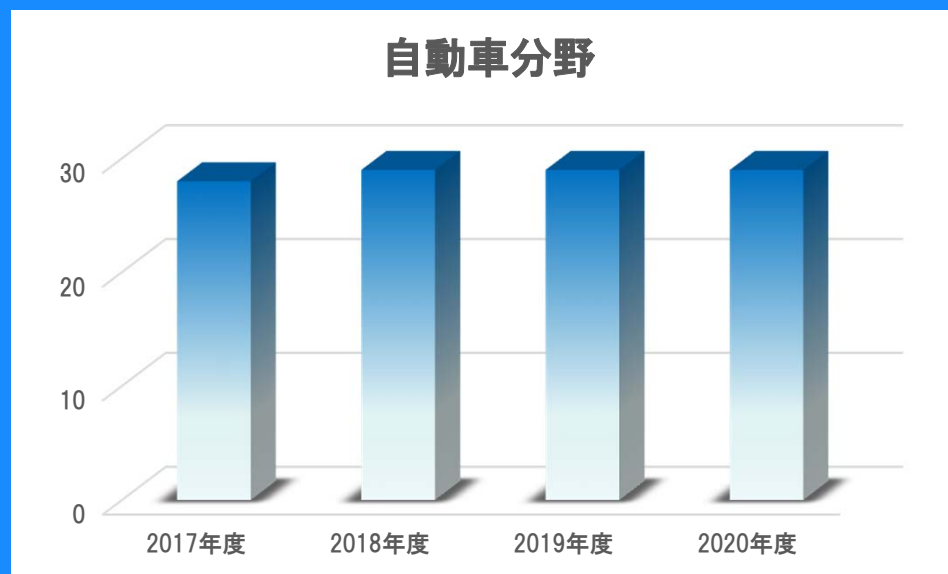
電気自動車の地域別市場成長率予測 2016-2025 (みずほ銀行産業調査部調べ)

## 抵抗溶接用電極 及び EV用接点製品



タングステン系の電極は、主に自動車電装部品の**接合工程**で用いられています。  
当社の抵抗溶接用電極は長寿命化や生産効率の向上に寄与しています。

## ■ 自動車



自動車



EV用接点製品



抵抗溶接用  
電極

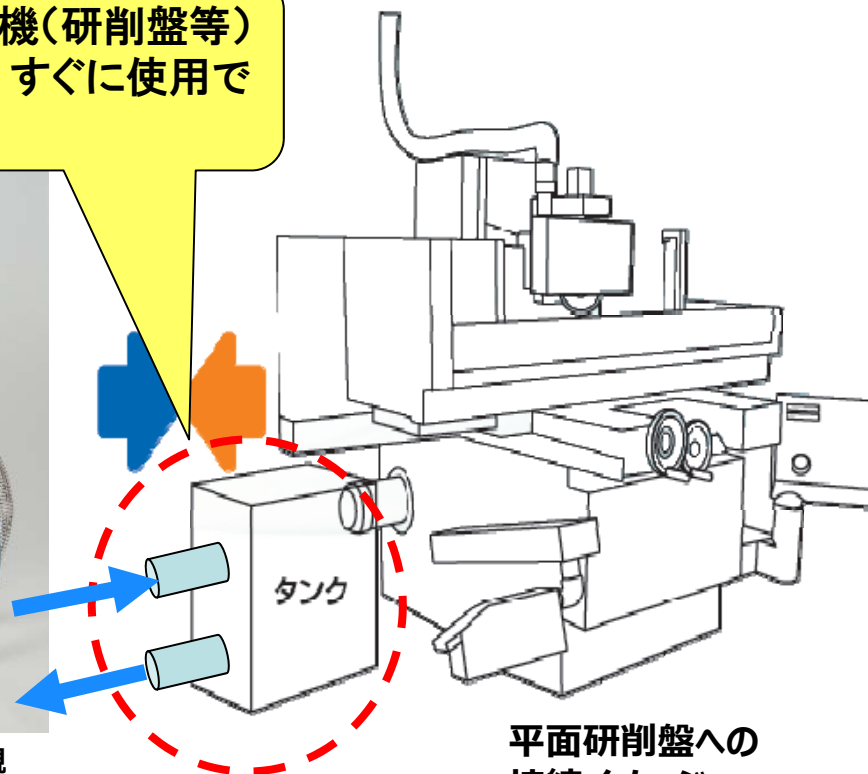


## ウルトラファインバブル（UFB）クーラントシステム

既存の加工機（研削盤等）に接続して、すぐに使用できます。



ウルトラファインバブルクーラントシステムの外観



平面研削盤への接続イメージ

- ・研削/切削能率は **140%以上**の改善効果となります。
- ・**砥石の寿命延長**と臭気防止の効果があります。

1. 会社概要
2. 主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
- 5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）**
6. 剰余金の配当、配当方針
7. 株式の状況

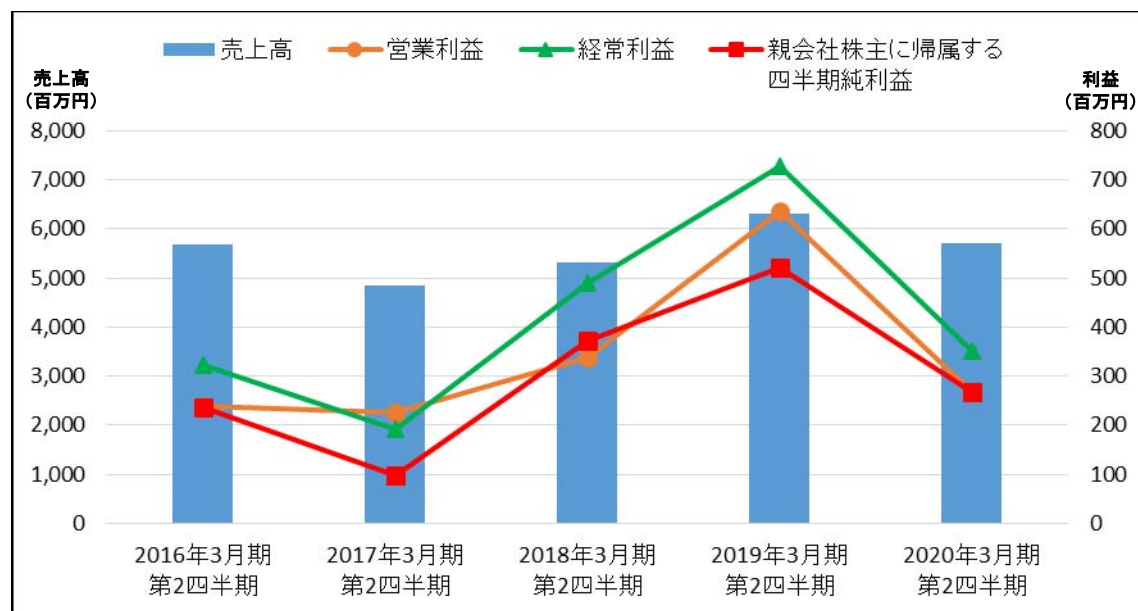
# 業績の概要 (2020年3月期第2四半期)

## ● 損益の状況

(単位: 百万円)

	2019年3月期 第2四半期(百分比)	2020年3月期 第2四半期(百分比)	対前年比 増減額 (増減率)
売上高	6,301 (100.0%)	5,711 (100.0%)	△589 (△9.4%)
営業利益	637 (10.1%)	267 (4.7%)	△370 (△58.1%)
経常利益	728 (11.6%)	351 (6.2%)	△376 (△51.7%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	521 (8.3%)	267 (4.7%)	△254 (△48.8%)

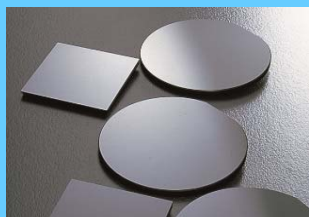
過去5年の業績の推移(第2四半期)



## 機械部品事業(半導体、衛生、電子部品、産業機器)

	2019年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	3,705	3,130	△575 (△15.5%)
営業利益 (百万円)	669	212	△456 (△68.2%)

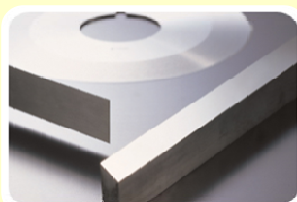
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板  
・堅調に推移



衛生用品関連のNTダイカッター  
・海外向けが顧客の設備投資の抑制等により減収



液晶関連の治工具製品  
・中国市場の需要減により減収

# 事業部別主要製品の状況

## 電機部品事業(医療、自動車、インフラ、照明)

	2019年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	2,616	2,610	△6 (△0.2%)
営業利益 (百万円)	238	331	92 (39.0%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



自動車関連の接点製品及び電極製品  
・電気自動車市場の拡大を受け増収



タングステンワイヤー製品  
・照明関連が減収

今後の経済見通しは、米中貿易摩擦の長期化による米中経済の減速等、先行き不透明な状況が続くと予想  
 このような外的要因も含め、当社グループの業績については精査中  
 現段階では2020年3月期の業績予想は据え置く  
 業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示を行う

## 2020年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	対前年 増減額	対前年 増減比
売上高	12,651	12,400	△251	△2.0%
営業利益	1,029	820	△210	△20.4%
経常利益	1,105	1,010	△95	△8.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	831	740	△91	△11.0%

1. 会社概要
2. 主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
- 6. 剰余金の配当、配当方針**
7. 株式の状況

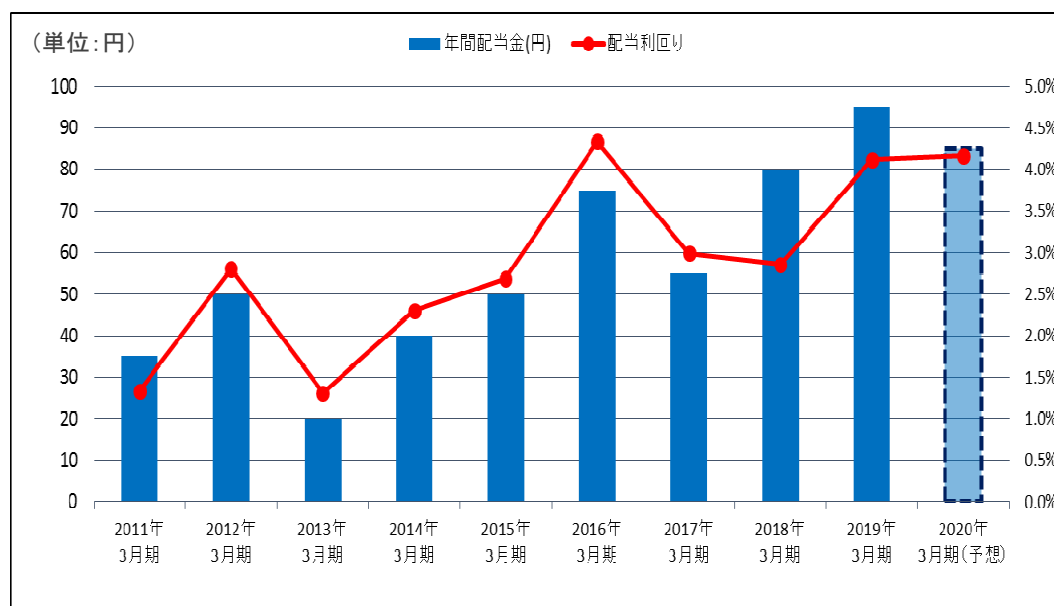


# 剰余金の配当、配当方針

中間配当金は**40円**、期末配当金予想は**45円**  
年間配当予想は、**1株当たり85円**となる

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想値
中間配当金	円 銭 40 00	円 銭 40 00
期末配当金	円 銭 55 00	円 銭 45 00
年間配当金	円 銭 95 00	円 銭 85 00
1株当たり 当期純利益	円 銭 342 80	円 銭 304 81
配当性向	27.7%	27.9%
配当利回り	4.1%	4.2%

## ●10年間の配当金の推移



※配当利回りは、3月末の終値を基準とし、2020年3月期(予想)は11月18日の終値を基準としている

### 【配当方針】

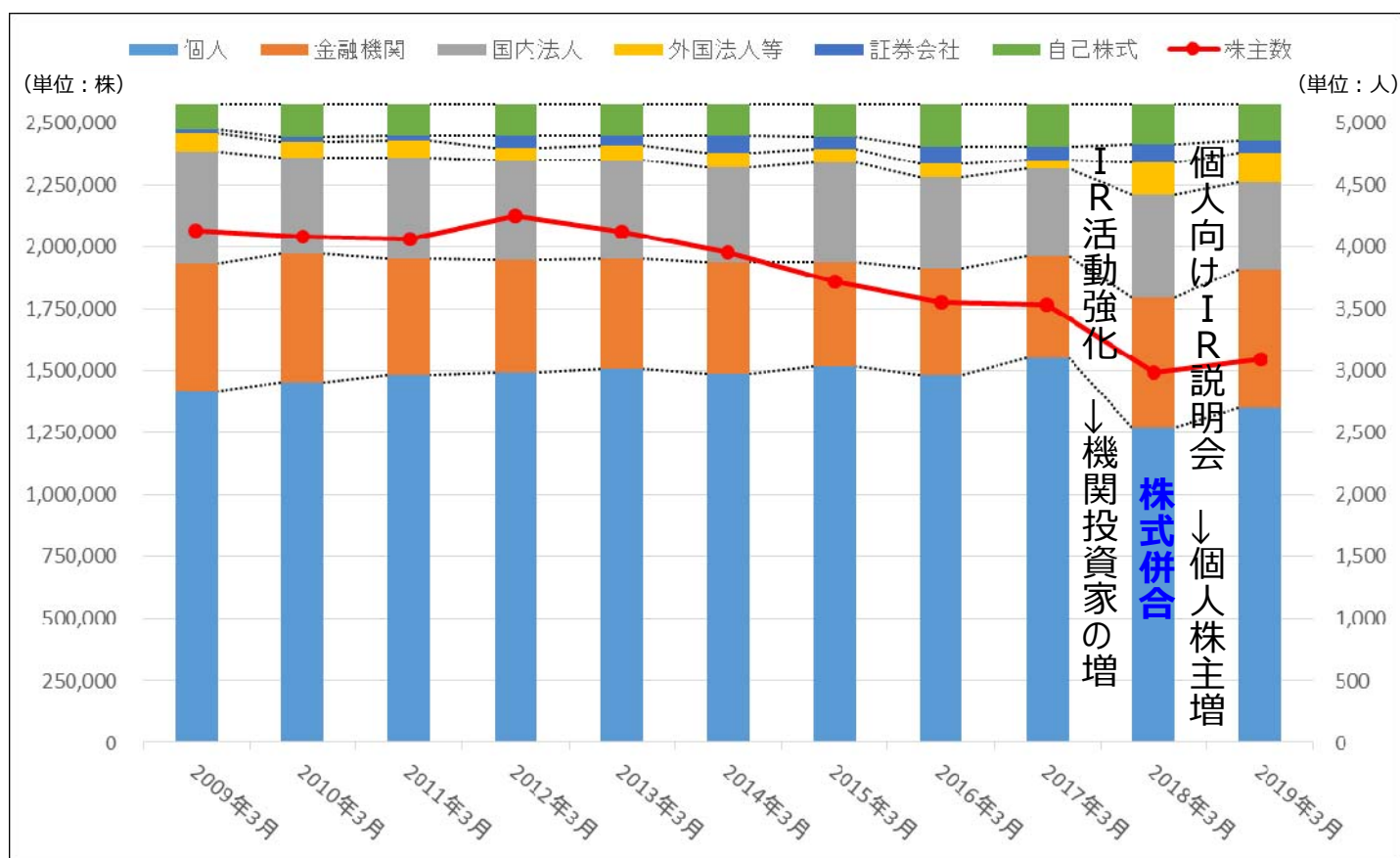
当社は株主の皆様への利益還元について、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な財務体質の強化等を勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努める。

1. 会社概要
2. 主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 剰余金の配当、配当方針
- 7. 株式の状況**

# 株式の状況

## 過去10年間の（期末）株主数及び持株数の推移

1人（1社）あたりの持株数の増加により株主数が減少。I R活動強化・業績拡大により機関投資家増。今後は個人投資家との対話をさらに強化。



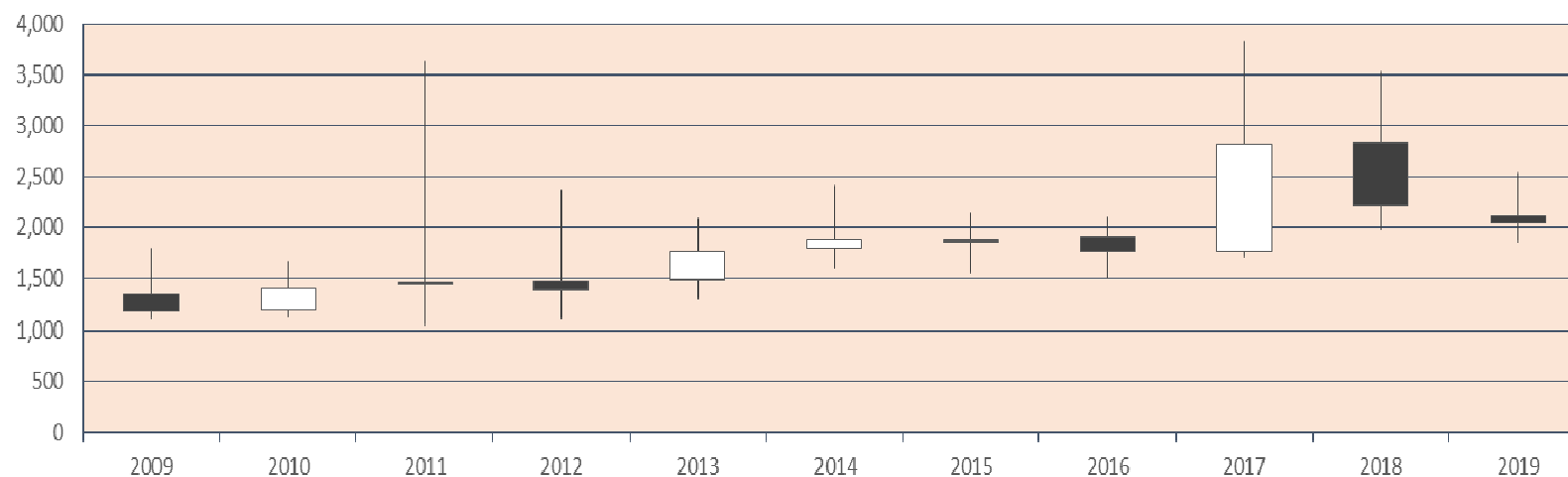
※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施したため、2018年3月は10株未満所有の株主が減少しております。

# 株式の状況

株式指標	発行済株式総数（19年9月）	2,577千株
	浮動株比率	63.5%
	<b>株価</b> （11月20日）： <b>売買単位100株</b>	2,031円
	1株あたり純資産（20年3月期第2四半期）	4,142円58銭
	<b>PBR</b> ：株価純資産倍率	0.49倍
	1株あたり純利益（20年3月期予想）	304円81銭
	<b>PER</b> ：株価収益率（20年3月期予想）	6.66倍
	1株あたり配当金（20年3月期予想）	85.0円
	<b>配当利回り</b> （20年3月期予想）	4.2%

(単位：円)

## 株価の推移（2009-2019）

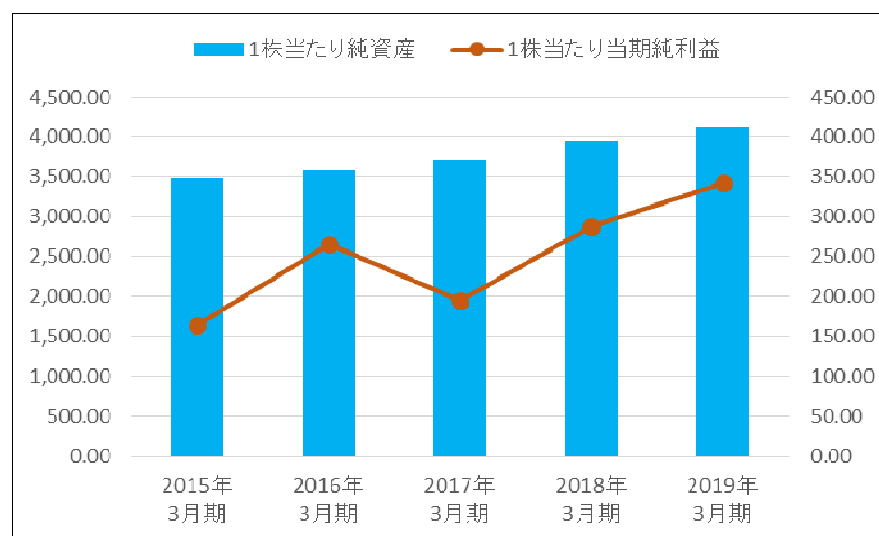


# (参考) 業績の概要 (連結)

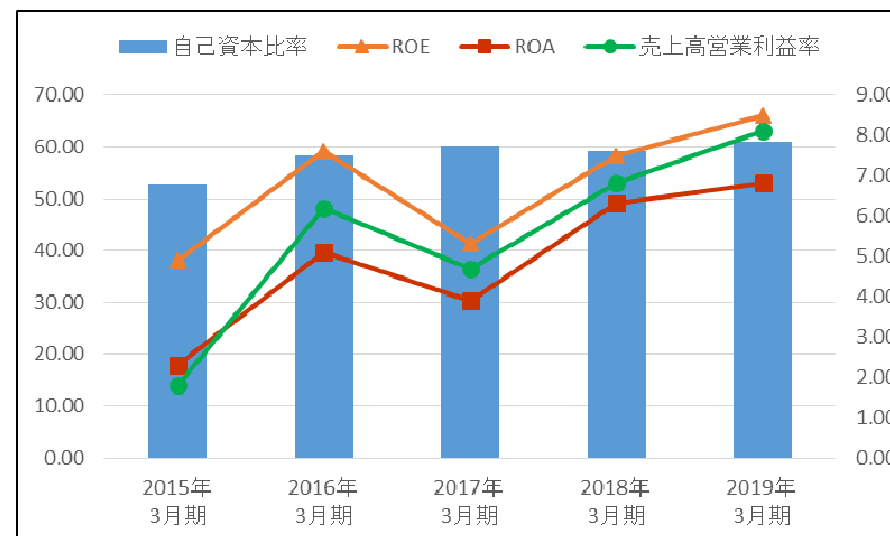
## ■ 経営指標

区 分	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
1株当たり純資産 (円)	3,483.29	3,582.89	3,715.00	3,949.26	4,118.69
1株当たり当期純利益 (円)	164.23	266.45	195.02	288.51	342.80
自己資本比率 (%)	52.70	58.30	60.20	59.20	61.00
自己資本利益率 (ROE) (%)	4.90	7.60	5.30	7.50	8.50
総資産経常利益率 (ROA) (%)	2.30	5.10	3.90	6.30	6.80
売上高営業利益率 (%)	1.80	6.20	4.70	6.80	8.10

## ■ 1株当たり純資産・1株当たり当期純利益



## ■ 自己資本比率・ROE・ROA・売上高営業利益率



## ご静聴ありがとうございました。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。